

R6 魚津市のコミュニティ・スクール ～活動紹介～ ②

学校マネジメント研修会

8月27日(火)に魚津市と黒部市の校長・教頭を対象に「学校マネジメント研修会」が開催されました。両市の小中学校が今年度コミュニティ・スクールとしてスタートしたことで、理解をより深め、管理職としてどのように取り組むかを学ぶ機会として設定したものです。講師の



【グループワークの様子】

大山賢一先生は、昨年度まで文科省のCSマイスターとして、全国の自治体で講演や学習会の講師を務められ、現在もコミュニティ・スクール導入促進に貢献されています。魚津市でも研修会の講師等、継続してご指導をいただいています。研修会では、前半は「地域とともにある学校づくり」という演題での講義、後半はグループワークを行いました。グループワークでは、学校教育目標を達成するための具体策を記載したマトリクスをもとに、意見交換、情報交換を行い、全体でも共有しました。

初めてコミュニティ・スクールに取り組む両市の管理職に向けて、大山先生から下記の励ましのメッセージをいただきました。特に、「課題は実践の成果であり、次の成長への目標である」という言葉は印象的で、参加者はコミュニティ・スクールの仕組みを生かした特色ある学校づくりへの意欲をさらに強くしたのではないかと思います。2市合同で実施することで、より多くの学校の取り組みや考えに触れる機会として、有意義な研修となりました。

よりよい学校経営をするために

- ・ 課題は実践の成果であり、次の目標である。
- ・ できない説明より、やる方法を考えよう。
- ・ 改善策は、無限にある。
- ・ 問題のある現場に立つと見えてくる。
- ・ 困らなければ、知恵は出ない。
- ・ 満点は望まない。60点でよい。進もう。
- ・ 誤りは、その場ですぐ直そう。
- ・ 何が何でも楽しくやろう。



【グループワークの様子】

学校の取り組み紹介 ～学校・家庭・地域合同研修 特別講演会～

6月27日(木)に、よつば小学校で、教員や保護者、学校運営委員はじめ地域の方々を対象とした合同研修会が開催されました。中央の大学教授を講師として招聘し、「子供の心を守り育てるために大切なこと」と題した講演でした。この研修会には、よつば小学校の教員、保護者、地域の方々、校区の中学校はじめ市内のPTA役員の方が参加されたと聞いています。

コミュニティ・スクールは、学校、保護者、地域が共通の課題を認識し、共通の目標やビジョンをもつことから始まるといわれています。そういった面で、この合同研修会は、コミュニティ・スクールのよさを生かすとても意義ある取り組みであると思います。

今後も、学校と地域の協働活動について各学校の取り組みを紹介していきます。